

介護老人保健施設「芙蓉の丘」について紹介します

「芙蓉の丘」は、共立蒲原総合病院併設の介護老人保健施設です。日常生活において支援や介護が必要な方々に対して生活指導、リハビリテーション、入浴、食事等を提供しています。そして、生活機能の維持改善による自立支援や心身機能の低下、転倒等による介護度の重度化の予防することを目標にサービスを行っています。

バザール開催

芙蓉の丘では、昨年10月にご家族の皆さんからご提供いただいた物品をもとにバザールを開催しました。会場には衣装や靴、小物が並び、利用者の皆さんは自由に選ぶ楽しさを味わい、他の方々との交流も深めることができました。「楽しい時間だった」という声が多く寄せられ、大変好評をいただきました。今後も、利用者の皆さんが充実した生活を送れるよう、さまざまな取り組みを行ってまいります。



芙蓉の丘ではデイケアの利用者を募集しています!!

- 【定員】1日60名
- 【サービス提供時間】平日 9:15~15:15 ※半日の利用も可能です
- 【送迎範囲】旧庵原郡および富士市・富士宮市一部 ※ご家族の送迎も可能です(ご相談に応じます)

リハビリ内容



筋力訓練 歩行練習 作業・趣味活動 脳トレ(認知症予防) 体操 言語療法

お問い合わせ先: 介護老人保健施設 芙蓉の丘 デイケア(担当: 小林)

TEL: 0545-56-2311(1日820円(食費)でお試し体験も受け付けています)

<https://www.kanbarahp.com/fuyonooka>



スタッフ(会計年度任用職員) 募集

当院では、以下の職種について随時募集しております。

- ・看護助手(フルタイム・パートタイム)
- ・介護福祉士(フルタイム・パートタイム)
- ・作業療法士(フルタイム)
- ・臨床検査技師(パートタイム)
- ・管理栄養士(フルタイム)
- ・診療情報管理士(フルタイム)

勤務日・勤務時間等については相談可能です。詳しくは病院ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

【お問い合わせ】0545-81-2211(病院代表)
内線12 総務課 総務担当 星崎



共立蒲原総合病院 広報誌

蒲原病院だより

春号

令和7年 4月

回覧

院長挨拶

新年度を迎えるにあたりご挨拶申し上げます。

昨年度は、年始に能登半島地震が発生し、奥能登地域を中心に甚大な被害がもたらされました。今も被災地の復興が進められており、改めて自然災害への備えの重要性を感じております。本年度も、南海トラフ地震をはじめとする災害への対策を病院としてしっかりと進めていかなければならないと考えております。

また、富士地域においては、昨年末から年始にかけてインフルエンザが大流行し、救急医療体制の課題を改めて認識させられました。私たちの病院でも、発熱患者さんへの対応に尽力いたしましたが、救急車の受け入れが困難となるケースも発生しており、十分な対応ができなかったことをお詫び申し上げます。本年度は、こうした課題に対し、より充実した救急医療体制を構築できるよう努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症は、令和5年に5類感染症に変更され、令和6年3月には治療や入院費用の軽減措置も終了しました。しかしながら、その後も定期的に感染の流行が見られ、通常診療への影響を最小限にとどめるため、細心の注意を払いながら、日々診療を継続しているところです。当院でも、院内でのマスクの着用をお願いしております。外来受診やお見舞いの際には、お手数ですが引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、当院は今年の10月1日に開院70周年を迎えます。地域住民の皆様の病气やけがを治す医療、リハビリおよび在宅復帰を目指した医療、人間ドックや健診など、予防的な医療を継続して行い、本年度も、皆様の健康を支えていけるよう、職員一同、尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

共立蒲原総合病院
院長 宮本 康裕



医療チームのご紹介 ～糖尿病・透析予防チーム～

糖尿病・透析予防チームは2017年3月に発足しました。

以降、糖尿病専門外来（糖尿病・腎症予防外来）に通院中の患者さんを対象に、糖尿病専門医、管理栄養士（日本糖尿病療養指導士在籍）、薬剤師、理学療法士、保健師、看護師（糖尿病看護認定看護師 / 透析看護認定看護師在籍）のチームで連携し、治療・療養生活のサポートを行っています。



糖尿病透析予防指導

糖尿病三大合併症のひとつである糖尿病性腎症は、透析を始める原因の第一位です。

病状の進行を予防するためには血糖値の改善だけでなく、病期、病態や個性を踏まえた生活支援、血圧、脂質、塩分摂取量の調整など総合的な対策が必要です。

糖尿病性腎症病期分類



早期発見・早期治療が大切です!!

当院、独自の取り組み（腎症3期以上を対象）

- ◆ 介入回数や介入期間を設けていないため、病期、ライフサイクルの変化等に即対応が可能
- ◆ 介入開始から看護師、管理栄養士が患者さんごとの受け持ち制で関係性が築きやすい
- ◆ チーム内に理学療法士、薬剤師が配置されているため、運動療法・薬物療法についての相談がしやすい

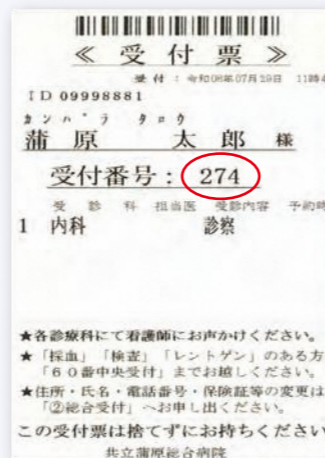
番号表示のお呼び出しについて

各科外来において、個人情報保護の観点から「番号表示」でお呼び出しをしております。

お呼びする番号は「再来受付機」や「総合受付」で発行した受付票の番号です。番号は各科外来のテレビモニターに表示されます。

患者さんをお呼びする目的の番号のため、早い番号が早く呼ばれるものではありません。

なお、必要に応じお名前でお呼び出しする場合があります。ご理解ご了承の程よろしくお願い致します。



マイナ保険証ブースの設置について

マイナ保険証＝健康保険証として登録したマイナンバーカード

当院では、円滑な保険情報確認のため、**2025年3月1日**からマイナ保険証ブースを設置しました。マイナンバーカードをお持ちの方は、初診・再来受付後、各科に行く前にカードリーダーへ通して保険情報確認のご協力をお願い致します。

マイナ保険証の4つのメリット

- ◆ 過去のお薬の情報や健診結果をふまえたより良い医療を受けられます
- ◆ 従来保険証よりも医療費がお得になります
- ◆ 高額療養費の限度額を超える支払が免除されます
- ◆ 確定申告の医療費控除申請が簡単になります



病棟への面会についてのお願い

当院では、インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて面会を制限または禁止させていただいております。

感染症発生状況等により急きょ変更となる場合がございますので、詳しくは当院ホームページをご覧ください。どうか、お問い合わせください。

健康診断センターの循環器バスが新しくなりました

健康診断センターでは、循環器バスと胃胸部検診バスで、様々な事業所や会場にお伺いして巡回健診を実施しています。

このたび平成6年からおよそ30年間使用した循環器バスが2025年1月より新しくなりました。

今まで稼動していた車両と同じピンクと白のカラーと、当院のロゴマークをあしらった優しいイメージの外装をまとい、室内の壁やカーテンの内装も落ち着いた色調で受診者の皆様をお迎えします。この循環器バスでは、医師・看護師・検査技師等の医療スタッフが健康診断の内容に合わせ、身体計測、血圧採血、視力聴力、内科診察、心電図、眼底検査などの検査を実施しています。

ゆとりのある空間とバリアフリーに考慮した設計で安全対策強化に努め、巡回健診システムを利用したスムーズな流れと精度管理により、受診される皆様により質の高い健診を提供していきます。

新しい循環器バスでこれからも地域の皆様の健康管理のお手伝いをさせていただきます。

